



ペンギン

# 松浦有枝メロ

## オホーツク管内でも 野党と市民の共同を!



声援に応える左から民進党長南副代表、川原市民の風・共同代表、上田元市長、民進党水上予定候補、共産党菅原予定候補、共産党菊池地区委員長、社民党須賀代表

# --- 緊急シンポジウム開催される! --- 立ちあがろう! 政治を変えるために あなたと野党の共同で

1月22日(日)午後1時から北見市端野町公民館グリーンホールで『緊急シンポジウム』が開催されました。平和運動を続けてきた市民団体が呼びかけて結成された「市民と野党の共同を求め12区の会」が主催しました。定刻の午後1時には会場いっぱいになり、関心の高さを感じさせました。

第一部は「市民と野党の共同が政治を変える」市民の風・共同代表の上田文雄さん(弁護士、元札幌市長)と川原茂男さん(札幌学院大学教授)の対談でした。2人は昨年の衆院5区補欠選挙で、野党共闘を実現させる時の市民団体の役割の大きさを語り、さらに勝利させるためには「50%しか投票に行かない」という人たちに、ど

「市民と野党の共同を求め12区の会」が主催する緊急シンポジウムに参加しました。開会のあいさつは、「平和の願いを網走から」のメンバー鈴木孝さん(なかまユニオン)が情勢とシンポジウムの意義を語りました。第一部は「市民と野党の共同が政治を変える」をテーマに、市民の風・北海道 共同代表の上田文雄氏(前札幌市長)、川原茂雄氏(札幌学院大学教授)が対談で衆議院5区の野党共闘までの苦労話をユーモアを交えて話されました。

第二部は、シンポジウム「安倍政権の暴走をどう止めるか」をテーマに、川原茂雄氏がコーディネーターとして、日本共産党の菅原まこと氏、民進党水上みか両衆議院12区予定候補に憲法や雇用、格差と貧困、野党共闘などを議論しました。菅原候補はとても分かりやすい話で感心しました。

う働きかけていくのが重要ではないのか」と参加者に呼びかけました。

第二部のシンポジウムでは共産党12区予定候補者の菅原誠さんと、民進党12区予定候補者の水上みかさんを迎えて、「安倍政権の暴走をどう止めるか」と題して討論が行われました。両予定候補者の政策と人柄を知る良い機会でもありました。2人からも「安倍暴走政治を止めるためには、力を合わせる以外にありません」との発言があり参加者から共感の拍手が会場に響いていました。

最後に民進党12区副代表の長南幸子さん、共産党北見地区委員会委員長の菊池豪一さん、社民党網走支部連合代表の須賀けんいちさんから決意が述べられました。「市民と野党の共同」は最初の大きな一歩を踏み出したと言えるのではないのでしょうか。

主催者代表あいさつをした

網走の鈴木 孝さん

(仲間ユニオン委員長)

安保法廃止を求めて、オホーツク管内で平和運動を取り組んでいる市民団体が、安倍政権の暴走を止め政治を変えるため「市民と野党の共同を求め12区の会」を結成し、画期的な戦いのスタートとなるシンポジウムを開催しました。上田(元札幌市長)、川原(札幌学院大学教授)両氏の対談では、昨年の衆議院5区補欠選挙での野党統一候補擁立で「政党間協議で難航した状況を市民が動かした」と経過に触れ、さらに「市民と野党の共同が民主主義の基盤」と強調し、市民が主役の野党共闘の必要性を痛感させられました。

## 街・スポットライト



総会で挨拶する小森支部長

全日本年金者組合網走支部の定期総会が1月21日(土)に開かれました。「楽しみが7割、まじめに3割」と緩やかに活動をしています。昨年は安保法制(戦争法)や「年金カット法」で暮らしが大変になるとゆっくり頑張りました。総会の後には新年会も行い大いに盛り上がり、楽しみました。会員募集中です。

網走から参加した70代の女性は、「シンポジウムは、ぜひ共闘を実現させて安倍政治を変えようという思いの溢れた集会でした。市民団体の訴えや、菅原さん、水上さんの元気のよい自分の考えも含めた発言など良かったし、色々な立場を乗り越えての共闘、難しいけど必ずできるのでは、と希望を持ちました。」と話していました。